

| | 月 | | 火 | | 水 | | 木 | | 金 | | |
|----------|------------|------------------|-------|------------------|-----------------|---------------------------------------|----------------------|------------------|---------------|---------------------|---------------|
| | AM | PM | AM | PM | AM | PM | AM | PM | AM | PM | |
| 総合診療 | 内科予約2診 | | | [内科] (循環器) 水越 正人 | [内科] (糖尿) 栗栖 清悟 | [内科] (肝臓) 佐藤 博明 | | | | [内科] 応援医師 | |
| | 内科予約3診 | [内科] (糖尿) 佐々木 秀行 | | [内科] (糖尿) 小河 健一 | | [内科] (肝臓) 田中 寛人 | | [内科] (糖尿) 佐々木 秀行 | | [内科] (糖尿) 小河 健一 | |
| | 内科予約4診 | [内科] 山根木 美香 | | [内科] (呼吸器) 上谷 光作 | | [内科] (循環器) 山本 勝廣 | [脳疾患・救急] 加藤 正哉 (第1週) | | [内科] 健診 小河 健一 | [内科] (循環器) 小林 克暢 | |
| | 内科新患5診 | [内科] 田中 寛人 | | [内科] 栗栖 清悟 | | [内科] 山根木 美香 | | [内科] 山根木 美香 | | [内科] 上谷 光作 | |
| | 外科診 | [外科] 櫻井 照久 | | [外科] 櫻井 照久 | | [外科] 鈴木 孝臣 (第2週) [外科] 佐々木 恵里 (不定期) | [外科] 櫻井 照久 (不定期) | | [外科] 櫻井 照久 | | |
| 脊椎ケアセンター | 第6診察室 | [脳神経外科] 大岩 美嗣 | | | [脳神経外科] 大岩 美嗣 | | | [脳神経外科] 大岩 美嗣 | 応援医師 | [脳神経外科] 上野 雅巳 (第1週) | [脳神経外科] 大岩 美嗣 |
| | 第7診察室 | [センター長] 川上 守 | | [センター長] 川上 守 | | | | | | [センター長] 川上 守 | |
| | 第8診察室 | [整形外科] 石元 優々 | | [整形外科] 寺口 真年 | | [整形外科] 寺口 真年 | | [整形外科] 石元 優々 | | [整形外科] 石元 優々 | |
| | リハビリテーション科 | 隅谷 政 | | 隅谷 政 | | 隅谷 政 | | 隅谷 政 | | 隅谷 政 | |
| 眼科 | [眼科] 応援医師 | こども外来 | 宮本 武 | 手術 | 宮本 武 | 術前外来 | 黄斑外来 | 手術 | 宮本 武 | | |
| 小児科 | 戸川 寛子 | 予防接種 | 樋口 隆造 | | 戸川 寛子 | 予防接種 | 樋口 隆造 | | 戸川 寛子 | | |

※当院は原則すべての診療科で予約制となりますので、来院前に予約センターへ電話での予約をお願いします。 2016年9月1日現在
 ※担当医が変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。
 ※外科：佐々木医師の診察は不定期となるため、事前にお問い合わせください。
 ※眼科：コンタクトレンズ外来は第2・4月曜日の午前10時00分～10時30分

紀北分院 予約センター TEL：0736-22-4600 (受付時間 月～金曜日 8時45分～15時)

10月16日(日)は、日曜日に乳がん検診を受けられる日です。

本年度も、JMS(ジャパンマンモグラフィーサンデー)に参加します。子育て、介護、仕事など多忙な平日をお過ごしの方の皆様に、日曜日に受診できるこの機会にぜひ「乳がん検診」を受けてみませんか。

- 【日時】10月16日(日) 9:00～13:00
- 【場所】和歌山県立医科大学附属病院紀北分院
- 【検査】触診・マンモグラフィ・超音波検査
- 【費用】自己負担額 4,000円 (かつらぎ町・九度山町・高野町・紀の川市・橋本市・五條市の受診券等の使用も可能です。)
- 【申込】事前予約が必要
 定員は、先着順で20名程度を予定しています。
 早めの予約をお勧めします。
 (定員となった場合は、ご容赦願います。)

問い合わせ先
 予約センター TEL0736-22-4600
 (受付時間 月曜日～金曜日8:45～15:00)

看護専門外来のお知らせ

当院では、糖尿・フットケア専門外来、緩和ケア専門外来、脊椎ケア専門外来、皮膚・排泄ケア専門外来、認知症専門外来、感染対策相談外来を実施しておりますので、ご気楽にご相談ください。お問い合わせ・ご予約は、医療支援室まで。TEL0736-22-0066(代表)

当院では、禁煙外来を実施しています。ぜひご来院ください!!

・次回の紀北分院通信「あじさい」冬号は1月です。

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 分院長 川上 守

〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺 219 TEL0736-22-0066 FAX0736-22-2579

ホームページアドレス <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html>

2016年9月発行



あじさい



vol.18
2016.秋号



理念

私たちは地域に密着した医療が実践できる質の高い医療人を育成し、安全で安心いただける医療を提供して、地域の保健医療の発展に貢献します。

基本方針

- 1 患者さんに信頼され、安全で心のこもった医療を行います。
- 2 豊かな人間性と専門的な知識と技術を備えた医療人を育成します。
- 3 地域に密着し、地域のニーズに応える医療機関を目指します。
- 4 近代的で最新の知識・技術を活用した医療を行い、地域の中核的医療機関としての使命を果たします。
- 5 地域の保健・医療・介護・福祉施設や行政と連携し、地域の人々の健康作りにも貢献します。

患者さんの権利

- 当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。
- 1 個人として、尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
 - 2 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
 - 3 十分な情報を得た上で、自己の意志に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
 - 4 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
 - 5 個人情報やプライバシーを守られる権利があります。

掲載内容

- ・白内障について
- ・新任ドクターの挨拶
- ・薬局紹介
- ・乳がん検診のお知らせ
- ・看護専門外来のお知らせ



白内障について



眼科
みやもと たけし
准教授 宮本 武

- 診察日
火曜日・水曜日・金曜日
- 専門分野
網膜硝子体手術、屈折矯正手術

白内障は高齢者における視力低下の主な原因で、眼科の診療において最も携わる機会が多い疾患です。糖尿病や眼の怪我のあとでも白内障になることはありますが、ほとんどの原因は老化現象です。白内障の症状として最も多いのは霞む感じや眼鏡をかけてもよく見えない、などですが、初期の症状は他にいろいろあります。普段は視力がいいのに天気がいい日に外に出ると見えにくくなる場合、信号が3重4重に見える場合、徐々に近視が進んできている場合などは白内障が進んでいる可能性があります。眼科を受診すると白内障の点眼薬を処方してもらうことがありますが、点眼薬は基本的に進行予防のためのもので、点眼薬では白内障を完全に治療してしまふことはできません。白内障で視力が落ちた場合、治療は手術になります。白内障の手術は早めにするほうが短時間で終わり、回復も早いことが多いのですが、まだ不自由を感じていない場合、手術は必要ありません。昔は全く見えなくなってから手術を受ける方がいいと言われていましたが、それは一昔前の手術の場合です。現在では手術時期は不自由を感じたら早めに、という感じが理想です。特に多いのは運転免許の書き換えが通らないという理由で手術を受けて頂く場合です。両眼で0.7以上ないと免許証は更新できませんので、0.7を切ってくるとそろそろ手術かな？と思ってしまうといいと思います。他には視力はいいけれども、ゴルフのボールが見えにくくなってきたなどという場合があります。視力は矯正で1.0以上あっても水晶体の真ん中に白内障の強い濁りがあるために明るいとこで瞳孔が縮んだ状態になると見えにくくなる場合がこれに相当します。近視が強すぎる場合なども早めに手術をすることで眼内レンズで近視を減らすことができます。

現在では超音波白内障手術で創口が2-3mmと小さい創口で行うことが主流となっており、比較的安全に行えるようになっています。先に述べさせて頂いた様な症状に心当たりのある方は、是非一度眼科受診されることをお勧めします。

■ 新任ドクターの挨拶



整形外科
てらくち まさとし
助教 寺口 真年

- 診察日
火曜日・水曜日
- 専門分野
脊椎・脊椎外科の診断と治療



薬局紹介

現在、4名の薬剤師が勤務しています。薬の専門家として、各診療科・中央部門・看護部門と連携をとりながら、有効・安全かつ最適な薬物療法を提供し、地域医療に貢献できるよう日々努力しております。

【主な業務内容】

I. 調剤

医師が処方した内容について、服用（投与）方法や投与量、相互作用、重複投与などのチェックを行い、疑問点があれば医師に確認しています。当院では、調剤の効率化と安全性確保のため、調剤支援システムを導入しています。



II. 製剤

治療のニーズに合わせ、市販されていない薬剤を調整しています。

III. 化学療法

抗がん剤の治療計画（レジメン）は、院内の化学療法委員会で審議・承認されています。そのレジメンに基づいて投薬量や投与期間、検査データなどを確認した後、安全キャビネット内にて無菌的に抗がん剤の調製を行っています。また、抗がん剤の治療スケジュールや副作用等について患者さんに説明を行っています。



IV. 薬剤管理指導

当院では院外処方せんの発行を推進することで、入院患者さんへの薬剤管理指導業務に積極的に取り組んでいます。検査データなどを確認しながら処方された薬剤の内容をチェックし、医師への処方提案を行っています。また、持参薬も含めた薬歴管理を行うことで、相互作用や重複投与などをチェックし副作用の回避に努めています。患者さんに服薬指導を行い、効果や副作用、服薬状況の確認も行っています。

V. TDM(治療薬物モニタリング)

特定の薬剤に関して、その血中濃度より、安全かつ効果的な治療ができるよう投与計画を立てています。

VI. 医薬品情報管理

治療に有用な医薬品情報を収集・整理し、医師や医療スタッフに提供しています。また、薬局内での勉強会も随時開催し、知識の向上に努めています。

VII. 医薬品管理

医薬品の購入と供給並びに適切な在庫管理を行っています。外来や病棟、手術室など院内に配置されている医薬品の払い出しや管理を行っています。また、災害時対策として医薬品の備蓄・管理も行っています。

VIII. 麻薬業務

疼痛緩和目的で使用する医療用麻薬の調剤・薬品管理を行っています。他にも覚醒剤原料、毒薬及び向精神薬を取り扱っています。

IX. チーム医療への参加

当院では、医師と看護師・管理栄養士・臨床検査技師・臨床心理士など様々なスタッフが各職種の専門性を活かし、チーム医療に取り組んでいます。薬剤師も栄養サポートチーム、感染対策チーム、緩和ケアチームなどに参加しています。